

☆☆台東区POPコンテスト6名入賞☆☆

例年参加している「台東区POPコンテスト」に6人が入賞しました。応募作品は1階掲示板にあります。力作ぞろいですのでぜひご覧ください。また、紹介している本もほとんど図書館にあります。みなさんの読書活動の成果が、さらに多くの白鷗生の読書のきっかけになれば嬉しいです。



都立白鷗高校西校舎図書館
2023.11.9



今月の新着図書Pickup!



『熟達論 人はいつまでも学び、成長できる』 為末大 新潮社

著者は陸上競技の選手として三度オリンピックに出場し、二度世界大会でメダルを獲得しました。「学び」は全ての人に開かれ、「学び」そのものが「娯楽化」するのが熟達の道。人間であることを謳歌し、夢中になって探求する喜びの体験を通じ、一人でも多くの方の可能性が開かれる助けになればと書かれた本です。

『かたちには理由がある』 秋田道夫 ハヤカワ新書

プロダクトデザイナーの著者が手がけてきた製品を題材に「かたち」について思考します。工業デザインは製造工程や素材、コストや構造など制約があり、どんな形のものでも自由に作れるわけではないそうです。「製品から言葉を発しているようなデザインがひとつの理想です。」その姿勢が表れているからか読みやすい本です。LED信号機の唯一のデザイナーかも。

『「美食地質学」入門 和食と日本列島の素敵な関係』 巽好幸 光文社新書

マグマ学者の著者が日本の美味しい和食と日本列島の変動の密接な関係を解説します。「和食の基本となる出汁はプレート運動に伴う地殻変動や火山活動が山地を形成したことで」をはじめ、全国各地の絶品食材を成立させた現象がわかります。このような恩恵とともに地震や噴火などの過酷な試練を人々に与えてきた日本列島の進化を理解するのに最適な本だと思います。